

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2005-194400(P2005-194400A)

【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-028

【出願番号】特願2004-2472(P2004-2472)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 23/08 (2006.01)**

**A 4 3 B 13/04 (2006.01)**

**B 3 2 B 5/18 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/32 (2006.01)**

**C 0 8 J 9/06 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/14 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 23/08

A 4 3 B 13/04 A

B 3 2 B 5/18

B 3 2 B 27/32 1 0 3

C 0 8 J 9/06 C E S

C 0 8 K 5/14

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

密度が0.880～0.920 g/cm<sup>3</sup>であり、メルトフローレート(ASTM D 1238, 190、2.16kg荷重)が0.1～50 g/10分の非結晶性ないし主融点ピーク的位置が110以下であるエチレン・オレフィン共重合体(A)、

エチレン・酢酸ビニル共重合体(B)、

有機ペルオキシド(C)、および

発泡剤(D)からなる組成物を熱処理して得られることを特徴とする発泡体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

請求項4に記載の発泡体を二次圧縮して得られる発泡体で、その比重が0.1～0.4であり、圧縮永久歪みが20～60%であり、引裂強度が2.0～4.0 kg/cmであることを特徴とする発泡体。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

本発明に係る発泡体は、  
密度が $0.880 \sim 0.920 \text{ g/cm}^3$ であり、メルトフローレート (ASTM D 1238, 190、2.16kg荷重) が $0.1 \sim 50 \text{ g/10分}$ の非結晶性ないし主融点ピークの位置が $110$ 以下であるエチレン・          -オレフィン共重合体 (A)、  
エチレン・酢酸ビニル共重合体 (B)、  
有機ペルオキシド (C)、および  
発泡剤 (D) からなる組成物を熱処理して得られることを特徴としている。